

本年度に重点的に取り組む事業

○文化的遺産の保存と活用

- ・大切に守り伝えられてきた指定文化財・登録文化財の保存と継承、新たな文化財の発掘に向けた調査等を行うとともに、文化的遺産を活用を図る。
- ・文化財保存活用地域計画策定に向け、郷土に伝わる文化的遺産の保存や管理状況を調査し、情報収集と整理作業を実施する。
- 重要文化財旧橋本家の適切な維持及び美観の保持に努めるとともに、国重要文化財への市民の理解と関心を高める。
- 大野市史や奥越史料などに掲載の史料を活用した講座等を行い、文化的遺産への市民の関心と興味を高める。
- ・国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」の環境改善を図り、本願清水に生息する淡水型イトヨの保護に努める。
- ・博物館において特別展や企画展を開催し、郷土に伝わる文化的遺産に対する市民の関心と興味を高める。
- ・結の故郷伝統文化伝承条例に基づき、「おおの遺産」を認証し、地域に受け継がれてきた風習や伝統芸能の伝承、景観の保全等に努める。

○伝統文化の伝承と普及

- 結の故郷伝統文化伝承条例に基づき、「おおの遺産」を認証し、地域に受け継がれてきた伝統芸能の伝承や景観の保全等に努める。

○自然遺産の保護と活用

- ・「大野市和泉地区化石保全活用計画」の推進を図り、化石及び産出地の保全や調査研究を行い、生涯教育や学校教育に活用する。
- ・県内外の研究機関と協力して、福井県立恐竜博物館と協力して、化石及び産出地の保全と保護や調査研究を行う。とともに、企画展開催やアンモナイト図録を生涯学習や学校教育に活用する。
- ・化石に関する企画展を開催し、全国的にも貴重な化石の産出地であることを市内外に情報発信し、化石産出地の保全に努める。
- 淡水型イトヨ生息地の保護保全に努める。

○文化施設の適切な維持管理

- ・市指定文化財である民俗資料館の保存活用計画に基づき、博物館相当施設として整備を進める。移築事業を進める。
- 歴史博物館や武家屋敷等が連携して博物館をめぐる事業を実施し、来館者の満足度を高める施設運営を図る。
- ・博物館施設の適切な維持管理に努め、収蔵資料を生涯教育や学校教育で活用する。

成果指標等
(●は第五次総合計画成果指標)

●指定等文化財件数(国・県・市)(累計)
【R1実績; 142件】 【R2目標; 143件】

○結の故郷伝統文化「おおの遺産」の認証(累計)
【R1実績; 18件】 【R2目標; 20件】

○和泉郷土資料館企画展入館者数
【R1実績; 1,131人】 【R2目標; 1,200人】
(※前年度5%増 1,131 × 1.05 = 1,187人)

○大野市歴史博物館入館者数
【R1実績; 3,999人】 【R2目標; 4,400人】
(※1月末実績3,999人 年度末見込み4,200人
前年度5%増 4,200人 × 1.05 = 4,410人)